

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局	農政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1-1-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1 款	1 項	2 目		
事業名称	良好な農景観の保全事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和4年度	90,436	0	0	0	90,436	0	0
補助事業 単独事業							0
令和3年度	90,760	0	0	0	90,760	0	0
増△減	△ 324	0	0	0	△ 324	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予 事業費	109,090	98,680	94,720
算 市債+一般財源	0	0	0
決 事業費	77,154	72,651	68,643
算 市債+一般財源	0	98	593

令和5年度	令和6年度	令和7年度
131,310		
0		

事業概要	<p>農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能などグリーンインフラ（※1）としての多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観も多様です。農業専用地区（※2）に代表される、集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などによる農地を維持する取組を支援します。</p> <p>※1 農地などの自然的環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本 ※2 都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、まとまりのある農地を横浜市独自の制度により指定した地区</p>							
事業開始年度	<p>①水田の保全/水田保全奨励：平成21年度</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援/牧草等による環境対策への支援：平成21年度、共同利用設備の整備支援：平成21年度</p> <p>③多様な主体による農地の利用促進/農地貸付促進：平成21年度、農地復元：平成23年度</p>							
根拠法令・方針決裁等	<p>①水田の保全 水田保全奨励事業実施要綱</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援 横浜市共同利用設備等設置支援事業補助金交付要綱 横浜市牧草等による環境対策奨励事業実施要綱</p> <p>③多様な主体による農地の利用促進 農業経営基盤強化促進法 横浜市農地貸付促進事業奨励金交付要綱 横浜市農地復元支援事業補助金交付要綱</p>							
事業目的・効果 (必要性)	<p>(事業目的) 横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。集団的な農地により構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家・NPO法人などによる農地を保全する取組を支援します。</p> <p>(効果) ・水田が10年間保全され、良好な景観の形成や生物多様性の保全などの多面的機能が発揮されます。 ・不法投棄をされやすい時間帯に警備者を配置することにより、不法投棄を未然に防止(抑止)します。 ・せん定枝などを堆肥化する取組や牧草等による環境対策への活動が進むことにより、周辺環境と調和した農景観の保全につながります。 ・耕作放棄地や利用程度の低い農地を、新規参入者や意欲的な担い手農家に農地を集積化させることにより、優良農地の保全を図ります。</p>							
根拠・データ等	<p>・横浜みどりアップ計画 [2019-2023] における目標値：年間125haの水田面積 <実績推移>平成28年度120.8ha、29年度119.8ha、30年度117.5ha、令和元年度113.5ha、2年度113.3ha</p> <p>・「横浜のみどりに関する土地所有者意識調査(平成29年7月)」において、「農地を貸すための条件」について「農地の整備(荒廃農地の復元)」と回答した割合：22%</p> <p>・横浜市の「耕作放棄地面積(販売農家)」の面積推移【横浜市の農業(2015農林業センサス結果報告)(政策局)】 <面積推移>平成17年度25.8ha、22年度31.1ha、27年度36.3ha</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
水田保全面積	単位	目標	125.0	125.0	125.0	125.0	125.0	
	ha	実績	113.5	113.3				
夜間警備日数	単位	目標	235	234	234	234	234	
	日	実績	244	235				
	単位	目標						
		実績						

事業スケジュール	<p>①水田の保全 <水田保全奨励> ・ 4～6月：新規・更新申出受付 ・ 6～10月：現地調査 ・ 11～12月：新規・更新承認 ・ 1～2月：奨励金交付決定 ・ 3月：支払</p> <p>②農景観を良好に維持する活動の支援 <夜間警備委託> ・ 通年：市内のいずれかの農地を監視</p> <p><横浜市牧草等による環境対策奨励事業> ・ 4月～以降随時：奨励金交付申出受付、現地調査 ・ 6月下旬～3月：事業実施報告受付 ・ 7月上旬～3月末：支払</p> <p><共同利用設備の整備> ・ 4月～5月末、以降随時：事前申出受付 ・ 6月上旬～2月：補助金交付申請受付 ・ 6月下旬～3月末：実績確認、補助金交付</p> <p>③多様な主体による農地の利用促進 <農地貸付促進> ・ 4～12月：貸借状況の確認 ・ 1月：交付対象者確定 ・ 2月：交付決定 ・ 3月：奨励金交付</p> <p><農地復元> ・ ～1月末：申出受付 ・ ～3月末：補助金交付</p>
----------	---

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	水田の保全		39,900	37,900	2,000
②	農景観を良好に維持する活動の支援		23,916	22,280	1,636	労務単価の上昇等に伴う 増
③	多様な主体による農地の利用促進		26,620	30,580	▲ 3,960	対象面積の減少に伴う減
		細事業合計	90,436	90,760	▲ 324	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 近藤 元子	係長 鈴木 雄大	係 小林 優大
--------------------	-------------	-------------	------------

